

# 試験研究情報のデータベース化と情報提供の高度化

(水産試験場研究情報提供事業)

向井哲也・若林英人

## 1. 研究目的

水産試験場に保存されている試験調査結果ならびに統計資料を逐次電子化する。さらに、インターネットを利用した情報提供システムの開発を行い、水産関係者・一般県民への情報提供を迅速かつ高度化する。

## 2. 研究情報の電子化と情報提供

- ・平成 15 年度事業報告書を PDF ファイルに変換し、Microsoft Excel 97 形式のファイルに変換した各種調査資料とともに CD-ROM に保存し、事業報告書とともに関係機関 235 箇所に送付した。事業報告書は水産試験場ホームページにも掲載している。
- ・島根の漁海況情報「トビウオ通信」(平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月)を毎月発行し、水産試験場のホームページ (<http://www2.pref.shimane.jp/suisi/>) に掲載している。
- ・平成 16 年 12 月からは、情報誌「とびくす」を発行し、魚介類や水試の業務についてトピック的な話題提供を開始した。とびくすは水試のホームページにも掲載している。
- ・ホームページ上で島根県の各地の漁況情報を紹介している。「とれとれ情報(旬の魚、月別漁模様)」、「旬の魚」では、現在、島根県沿岸で釣、刺網、定置網により漁獲されている魚種について、漁獲量の多い順に上位 10 魚種を地区別(出雲東部・西部、石見東部・西部、隠岐)に写真入りで紹介した。内容は毎月上・中・下旬に更新を行った。「月別漁模様」では、主要漁業種(中型まき網、沖合底びき網、小型底びき網 1 種、定置網、採貝藻)の月別の漁獲量と水揚げ金額を出雲、石見、隠岐ごとにグラフで紹介した。グラフには前年と平年の漁獲状況を併せて表示した。また、それぞれの漁業種の主要魚種について、漁獲量と水揚げ金額の多い上位 10 魚種をグラフと数値で紹介した。
- ・ホームページ上で「海のお天気」として試験船による海洋観測結果と、山口県および鳥取県の観測データをもとに作成した島根県沖の水温分布図を登録した。水温分布図は水深 0 m、50 m、100 m の 3 層について作成、登録した。このほか、浜田港における毎日の水温(午前 10 時計測分)を、過去 1 週間の水温と併せてグラフで表示した。
- ・イントラネット上に「水産情報 F A Q システム」を構築し、これまでの県民・漁業者などからの問い合わせ内容をデータベース化し、水産部局内で情報の共有ができるようにした。